

尾上菊五郎（十六世）^{きくごろう}歌舞伎俳優。明治十八年八月、二十、八百東京
 生れ、昭和二十四年七月十日歿（八五—一九九）。本名寺島幸三。五世
 の長男。尾上幸三、二世尾上丑之助の孫。明治二十六年、八世襲名。
 昭和五年日本俳優学校を創設、以後文化勲章追贈。

著書 『切のし夫』（合著・東京婦人生活研究會編、昭和十九年二月十
 日築地書店）、『藝』（川尻清潭編、昭和二十一年十月二十日改造
 社）、『おどり』（昭和二十二年十月二十日時代社）等。

文献、川尻清潭著『十六世菊五郎白話』（昭和二十二年七月十日古文社）、
 『十六代尾上菊五郎』（齋藤竹治編、昭和二十四年十月十五日梨の花會
 『花道』別冊）、『十六代菊五郎遺稿』（昭和二十四年十一月五日松竹株
 式會社演劇部編刊）、澤美清大郎著『十六代自菊五郎評傳』（昭和二十
 五年十一月十五日富山房）、寺島千代述『おどり』のこゝろ（十六代自菊五
 郎の思ひ出）』（洋井良齋綴、昭和二十八年四月二十日演劇出版社）
 等。

